

枚方市

子どもの居場所サポートガイド ~不登校支援ガイド~

子どもたちの悩みはさまざまです。 そんな、子どもたちや保護者の皆さんをサポートしていきます。





枚方市教育委員会 児童生徒課

4 050-7105-8048

072-851-9335

1.「不登校」とは、どのような状態をいうのですか?

不登校は、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登 校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者 のうち、病気や経済的な理由による者を除いたものとされています。

2. 枚方市の不登校児童・生徒数の現状は?

表1. 枚方市の不登校児童・生徒数の推移



表2. R4年度 不登校者数【学年別】

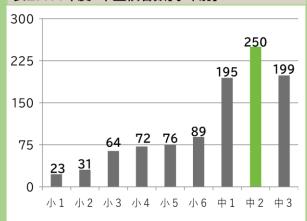


表1からもわかるように、枚方市の不登校児童・生徒は、増加傾向にあります。 また、表2令和4年度の不登校者数【学年別】では、中学校2年生が最も多くなっています。

3. 不登校になった時、どのようにとらえたらいいのですか?

- ◆不登校は、周りの環境に よっては、どの子どもに も起こり得ます。
- →決して「わが子だけ」 と思わないように しましょう。
- ◆不登校の要因や背景、 不登校である期間や その受け止め方は個々 の状況によってさまざまです。
- →もしかすると、子ども 自身にも理由がわか らないこともあるかも しれません。
- ◆「学校に登校する」という結果 のみを目標にせず、子どもが 自らの生き方を主体的にとら えて、社会的に自立すること を考えます。
 - →子どもの思い や願いを大切に しましょう。

枚方市では、不登校児童・生徒に対して、 どのような支援をしているのかしら?



枚方市は、様々な形で、子どもの居場所づくりを進めています



登校してい

を休みがち・学校を休んでいる

登校してい

学

スクールカウンセラー※1、心の教室相談員※2 スクールソーシャルワーカー※3の派遣 アプリ【ぽーち】の利用



教室内での支援

様々な教職員で、児童・生徒のSOSをより受け 止めやすい環境を作っています。



数室外での支援

校内教育支援ルーム

不登校支援協力員※4を中心とした、校内教育 支援センターまたは別室での寄り添い支援を 行っています。



ハウケナンコーナ

な支援

学習支援や集団活動、カウンセリング等の教育 支援を行っています。

教育支援センター「ルポ」

児童育成支援拠点事業 【令和6年10月以降開始予定】

生活習慣の形成や学習サポート、進路相談、食事の提供など子どもの居場所を提供する予定です。



公民連携プラットフォーム※5 による居場所づくり(試行中)

公民連携プラットフォームによる家庭・学校以外での子どもたちの支援に向け環境整備を進めています。

五常小居場所づくりに関係する ページ(QRコードをタップしても ページへとびます。)



フリースクール※6



教育支援センター「ルポ」

児童・生徒に年齢の近い学生指導員が家庭訪問 等の支援活動行っています。



教育支援センター「ルポ」

公民連携プラットフォームによるメタバース 空間づくりや教育支援センタースタッフによ るオンライン空間を活用した支援に向け環境 整備を進めています。

フリースクール※6

学校以外に相談をしたい

- ※1 心理に関する専門的な知識を有する全小中学校に配置
- ※2 教育に関する専門的な知識・経験を有する(臨床心理士、教員資格等)、全小学校に配置
- ※3 福祉に関する専門的な知識を有する(社会福祉士等)、全小中学校を巡回
- ※4 自教室に入ることに不安を抱える子どもたちに対して、学習支援や相談活動等を行います。 全中学校、一部の小学校に配置
- ※5 事業者が持つアイデアや技術を活かした公民連携事業のことをいいます。
- ※6 現在、フリースクールを居場所する子どもへの費用支援の実現をめざしています。

①各学校によるサポート(各学校へご連絡ください)

- ・様々な立場の教職員で情報を共有し、定期的な電話連絡や家庭訪問による面談
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員等の専門家による教育相談
- ・デジタル教材や学習プリント等による個別支援学習
- ・ICT機器を活用したオンライン授業
- ・校内教育支援ルームまたは別室への登校
- ・不登校支援協力員による支援



②教育支援センター「ルポ」でのサポート(教育文化センター2階)

- ・家庭及び学校と連携した学習活動や個人活動、グループ活動の実施
- ・プログラミングやオンラインゲームを使った学習活動
- ・eスポーツの体験・メタバース空間での登室【試行中】
- ・本人及び保護者に対する定期的なカウンセリング
- ・オンラインでの、不登校児童・生徒・保護者支援
- 《開室日時》 月~金 10時~15時
- ≪問い合わせ≫ ☎050-7102-3154

QRコードをタップしても、 ページへとびます。



jidousien@city.hirakata.osaka.jp

③フリースクール等でのサポート

学習活動や教育相談等を行い、個別支援を実施している民間施設。

(令和5年度1月末時点で枚方市教育委員会が把握している、

不登校支援に関するホームページ

不登校等の児童・生徒を受け入れている民間支援団体です。)



QRコードをタップしても、 ページへとびます。

各フリースクール等の問い合わせ先や詳細はHPに掲載しています。随時、新しい情報を更新します。



④相談窓口によるサポート

児童・生徒及び保護者が抱えている様々な課題に応じた相談を実施しています。

く 子どもの笑顔を 守るコール

いじめ、友達関係、不登校に 関することなど、学校生活全般 について電話による教育相談 を行っています。

『教育安心ホットライン』 072-809-2975

月~金 9時~17時30分

教育相談

専門的な知識を有する相談員が、子どもの発達等について面談や心理検査などを通してアドバイスをします。事前に予約が必要です。原則、学校を通じてお申し込みください。

050-7102-3154

月~金9時30分~18時

まるっと こどもセンター

子どもとの接し方・親子関係・ 友達関係・発達・行動上の問題 など、様々な相談に専門の 相談員が応じます。

050-7102-3221

月〜金 9時〜17時30分 (9月以降 番号が変わる予定です)

子どもの居場所、相談窓口は他にもあります。

○枚方市立図書館

枚方市には中央図書館のほか、7図書館・7分室が市内各所に設置されてい ます。 枚方市立図書館の一覧表

図書館では、自習コーナー(中央図書館のほか、7図書館

・氷室分室)で、学習できるだけではなく、子ども向けに 様々な催しが企画されています。



QRコードをタップしても、ホームページへとびます。



〇子ども食堂

枚方市では、家で1人で食事をとる、夜遅くまで1人で 過ごすといった環境にある子どもたちに対し、食事や 学習等の場の提供をする子どもの居場所づくりを 推進しています。

実施場所は、小学校や生涯学習市民センターなどの公 共施設や地域の集会所などで実施されています。



ホームページへとびます。



○その他相談窓口

青少年相談

(枚方公園青少年センター)

いじめ・不登校・ひきこもり・中途 退学・人間関係等の相談をするこ とができます。

072-844-7830

第1月曜日 17時~19時50分 第3月曜日 16時~19時50分

QRコードをタップしても、ホームページへとびます。



こころの健康相談

(枚方市保健所)

こころの病やこころの健康に関す ることを、精神保健福祉士や保健 師等に相談をすることができます。

072-807-7623

月~金 9時~17時30分

こころの健康相談について

QRコードをタップしても、 ホームページへとびます。



大阪府中央 子ども家庭センター

子どもや家庭についてや、おおむ ね25歳までの青少年についての 相談をすることができます。

072-828-0161

月~金 9時~17時45分

大阪府中央子ども家庭センター

QRコードをタップしても、 ホームページへとびます。



気になることや、困ったことがあれ ば、各学校や各相談窓口等にご相談 ください。